

給水装置等工事編
 第1章 基礎歩掛
 第1. 工事歩掛

1. 適用基準

包括工種に含まれる各々の工種について、特段の記載がないものについては、「基礎積算編」の他、「水道事業実務必携（全国簡易水道協議会）」又は「国土交通省土木工事標準積算基準書」による。

また、「水道事業実務必携」による管据付歩掛には、明示テープ貼付を含む。

2. 基礎単価

(1) 鉛管継手工

ア. 諸雑費はプラスタン材料等を含む。

イ. 標準数量表

25mm以下 (1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
配 管 工		人	0.13	
諸 雑 費		式	1	労務費の5% + 端数処理
計				

30～50mm (1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
配 管 工		人	0.17	
諸 雑 費		式	1	労務費の5% + 端数処理
計				

(2) ビニル管継手工

ア. 標準数量表

25mm (1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
硬質塩化ビニル管布設(TS継手工)	25mm	口	2.00	
ビニルソケット	HIVP25mm	個	1.00	
諸 雑 費		式	1	労務費の1% + 端数処理
計				

40 mm

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
硬質塩化ビニル管布設 (TS継手工)	40 mm	口	2.00	
ビニルソケット	HIVP40 mm	個	1.00	
諸 雑 費		式	1	労務費の1% + 端数処理
計				

50 mm

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
硬質塩化ビニル管布設 (TS継手工)	50 mm	口	2.00	
ビニルソケット	HIVP50 mm	個	1.00	
諸 雑 費		式	1	労務費の1% + 端数処理
計				

75 mm

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
硬質塩化ビニル管布設 (TS継手工)	75 mm	口	2.00	
ビニルソケット	HIVP75 mm	個	1.00	
諸 雑 費		式	1	労務費の1% + 端数処理
計				

(3) 管布設工 (ビニル管)

ア. ビニル管継手工は、本基準 - 第1. - 2. - (2)を適用する。

イ. 標準数量表

25 mm

(1m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
硬質塩化ビニル管布設 (据付工)	25 mm	m	1.00	
ビニル管継手工	25 mm	箇所	1.00	
硬質塩化ビニル管切断工	25 mm	口	1.00	
耐衝撃性硬質塩化ビニル管	25 mm	m	1.00	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

40 mm

(1 m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
硬質塩化ビニル管布設(据付工)	40 mm	m	1.00	
ビニル管継手工	40 mm	箇所	1.00	
硬質塩化ビニル管切断工	40 mm	口	1.00	
耐衝撃性硬質塩化ビニル管	40 mm	m	1.00	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

50 mm

(1 m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
硬質塩化ビニル管布設(据付工)	50 mm	m	1.00	
ビニル管継手工	50 mm	箇所	1.00	
硬質塩化ビニル管切断工	50 mm	口	1.00	
耐衝撃性硬質塩化ビニル管	50 mm	m	1.00	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

75 mm

(1 m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
硬質塩化ビニル管布設(据付工)	75 mm	m	1.00	
ビニル管継手工	75 mm	箇所	1.00	
硬質塩化ビニル管切断工	75 mm	口	1	
耐衝撃性硬質塩化ビニル管	75 mm	m	1.00	
諸 雑 費		式	1.00	端数処理
計				

(4) 管布設工(鋳鉄管)

ア. 標準数量表

75 mm

(1 m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
管据付工(機械力)	75 mm	m	1.00	
K S 形 継 手 工	75 mm	箇所	0.84	
管切断工(新管)	75 mm、エンジンカッター使用	口	0.11	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

100mm

(1m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
管据付工(機械力)	100mm	m	1.00	
K S 形 継 手 工	100mm	箇所	0.84	
管切断工(新管)	100mm、エンジンカッター使用	口	0.11	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

200mm

(1m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
管据付工(機械力)	200mm	m	1.00	
K S 形 継 手 工	200mm	箇所	0.66	
管切断工(新管)	200mm、エンジンカッター使用	口	0.13	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

(5) 管連絡工(ビニル管40mm~75mm)

ア. 歩掛には、連絡箇所の管撤去工を含む。

イ. 標準数量表

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
土木一般世話役		人	0.08	
配 管 工		人	0.08	
普通作業員		人	0.15	
水替工(1)	作業時排水(発動発電機)、可搬自給式 50、 全揚程 5m、1台	日	0.03	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

(6) 割T字管撤去工(100mm~400mm)

ア. 歩掛には、既設割T字管の取外し及び割継ぎ輪の取付を含む。

イ. 標準数量表

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
配 管 工		人	0.33	
普通作業員		人	0.17	
諸 雑 費		式	1	労務費の1%+端数処理
計				

(7) 栓止工

ア．標準数量表

分水栓

(1 箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
配 管 工		人	0.07	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

サドル付分水栓

(1 箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
配 管 工		人	0.05	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

(8) 止水栓撤去工

ア．標準数量表

(1 箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
普 通 作 業 員		人	0.10	
配 管 工		人	0.10	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

(9) 舗装版切断工

ア．標準数量表

(1 m当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
舗 装 版 切 断	A s 舗装版 15 c m以下	m	0.80	
舗 装 版 切 断	C o 舗装版 15 c m以下	m	0.20	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

(10) 床タイル復元工

ア．公共住宅建築工事積算基準（国土交通省住宅局住宅総合整備課）に準拠する。

イ．標準数量表 (1 m²当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
床 タ イ ル	100mm×100mm厚物、 磁器質相当、無釉	枚	102	【1】
セ メ ン ト	普通	kg	3.0	
細 骨 材	砂・コンクリート用骨材・洗い	m ³	0.004	
タ イ ル 工		人	0.22	【2】
普 通 作 業 員		人	0.09	【3】
床モルタル塗り	一般タイル下地、木こて37mm	m ²	1.0	
諸 雑 費		式	1	【1】～【3】の16%＋端数処理
計				

(11) 管継手工（50mm以下）

ア．鉛管継手工は、「 - 1 第1.2.(1)鉛管継手工」によるものとする。

イ．ビニル管継手工は、「 - 1 第1.2.(2)ビニル管継手工」によるものとする。

ウ．標準数量表 (1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
鉛 管 継 手 工	25mm以下	箇所	0.72	
〃	30～50mm	箇所	0.08	
ビニル管継手工	25mm	箇所	0.18	
〃	40mm	箇所	0.02	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

(12) 制水弁取替工

ア．標準数量表

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
鑄鉄製仕切弁設置工	機械・設置撤去・150mm	基	1.00	
配 管 工		人	0.60	
普 通 作 業 員		人	1.20	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

(13) 制水弁修繕工

ア．標準数量表

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
配 管 工		人	0.16	
普 通 作 業 員		人	0.80	
諸 雑 費		式	1	労務費の2%+端数処理
計				

(14) 鉄蓋設置工

ア．標準数量表

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
弁室類築造工	制水弁室、300以下(浅埋用)、 据付・撤去、基礎砕石無	箇所	1.00	
諸 雑 費		式	1	端数処理
計				

(15) 止水栓上部取替工

ア．管継手工(50mm以下)は、「 - 1 第1.2.(11)管継手工(50mm以下) 」
によるものとする。

イ．標準数量表

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
管継手工(50mm以下)		箇所	1.00	
諸 雑 費		式	1	管継手工の10%+端数処理
計				

(16) メータ取付工

ア. 標準数量表

(1箇所当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
配 管 工		人	0.17	
普 通 作 業 員		人	0.06	
諸 雑 費		式	1	労務費の1% + 端数処理
計				

(17) ダクタイル鋳鉄管

ア. 標準数量表

ダクタイル鋳鉄管 K形1~2種 75~400

(1,000kg当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
D1K 直管	75×4	本	1.75	
D1K 直管	100×4	本	1.375	
D1K 直管	150×5	本	0.75	
D1K 直管	200×5	本	0.50	
D1K 直管	250×5	本	0.50	
D1K 直管	300×6	本	0.25	
D1K 直管	350×6	本	0.25	
D2K 直管	400×6	本	0.25	
計				

ダクタイル鋳鉄管(エポキシ) K形1種 75~300

(1,000kg当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
D1K 直管	75×4(エポキシ)	本	2.33	
D1K 直管	100×4(エポキシ)	本	1.79	
D1K 直管	150×5(エポキシ)	本	0.99	
D1K 直管	200×5(エポキシ)	本	0.75	
D1K 直管	250×5(エポキシ)	本	0.60	
D1K 直管	300×6(エポキシ)	本	0.39	
計				

ダクタイル鋳鉄異形管 K形 75~400

(1,000kg当り)

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
ダクタイルメカ異形管 (K形 類異形管)	75~250	t	0.50	
ダクタイルメカ異形管 (K形 類異形管)	300~450	t	0.50	
計				

第 2 . 掘削方法の選定

「給水装置改良工事」「給水装置修繕工事」「宅地内給水装置等修繕工事」を除く給水装置工事及び給水施設工事における掘削方法の選定については、「基礎積算編」に準じるが、これにより難しい場合は別途考慮する。なお、管布設（撤去）の主たる口径が50mm以下の場合、原則として、バックホウ山積0.08m³を選定する。